

(書式 2)

## 学会参加報告書

提出日 2013年 9月 11日

学籍番号	12n0007	学系	健康科学・スポーツ医科学系
氏名	鹿野晶子		
学会等名 (正式名称)	The 21st IUHPE World Conference on Health Promotion		
開催日程	2013年 8月 25日 ~ 2013年 8月 29日		
開催場所 (国・都市名)	Pattaya, Thailand		
発表演題名	Urgent health issues in Japanese children based on 'Annual Report of Physical and Mental Health among the Children' : (2) Warning to too sleepless society		
参加報告 ・項目別に具体的に記載する。	<p>&lt;学会の全体の印象&gt; タイでの開催ということもあり、前回大会よりもアジアからの参加者が多く、主な参加国とその人数は、タイ 1167名、日本 306名、オーストラリア 232名であったことが報告されていた。本大会のメインテーマは、"Best Investigation for Health"であり、各国における不健康な状況に対する政府の施策や各団体、個人での具体策について、盛んな議論が交わされていた。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt; 本学会では、日本の子どもたちの睡眠状況に注目し、その深刻さと背景にあると考えられる社会環境について報告した。関連すると考えられる発表に、全体のセッションにおけるブータン王国のシンポジストからの「人々が一番幸福感を感じるのは、1日24時間の時間配分が睡眠・仕事・仕事以外で1/3ずつであるときである」という調査結果があった。このような結果は、日本における睡眠時間の短縮化が心の充実にも影響を及ぼしているという種々の報告を支持するものであり、その対策が急務の課題であることを改めて感じた。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt; ポスター報告では、タイ、オーストラリア、プエルト・リコ、ブラジル、エストニア、インドネシア、中国、日本等々、多くの国々の方々と交流することができた。いただいた質問やコメントは、主に以下のものであった。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・私たちの国でも同じような睡眠状況がある (ブラジル、タイ)</li><li>・睡眠とゲームとの関連については、大変興味がある。この点については、問題としなければいけないだろう (ブラジル、タイ)</li><li>・私の国の子どもたちの就床時刻はもっと早い (オーストラリア)</li><li>・日本の高校生の携帯電話の所有率には驚愕させられた (タイ)</li><li>・日本の子どもたちのゲーム実施率や実施時間について (タイ)</li><li>・データの蒐集方法について (タイ)</li><li>・このような日本の子どもの状況に対する政府の対策について (タイ)</li></ul>		

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。  
提出期限は学会終了後2週間以内とする。